

自主財源マイナス1.3%

前年比1億円減の77億8千5百万円－4年連続減



井之川博幸市議

沼田市の「自主財源」の推移は、04（H16）年度の合併により初めて100億円を超え、その後90億円台まで減ったが、H19年度の「税源移譲」により市民税が増え、再び100億円を上回りましたが、以来4年連続して減少し、70億円台まで落ち込んでしまいました。

星野市長が始めた行財政改革による「補助金カット」や職員人件費カットなどの緊縮財政で、市の財政状況は改善しつつありますが、開発・投資費は中心市街地の区画整理に偏重し、市全体に行き渡らないため、市全体の経済状況が悪化しています。農林業はじめ、本市の地場産業・地域産業の振興に徹底的に力を注いでこそ地域経済の活性化の道が開けるのではないのでしょうか。

環状線などは根本的な見直しを



環状線は、栄町工区の利根実業ウラ側の道路が、途中までのやりっ放しで10年間経過しています。地権者へのキチンとした同意をとらずに工事を始めたことがこのような結果になっているものですが、まったくムダな状況です。もともと時代のすう勢を考えれば、4車線道路などは必要なく、2車線で十分です。

都市計画決定はもともと住民無視

環状線を含めて、都市計画道路は住民の同意など関係なく地図上で勝手に行政が線を引き、都市計画審議会や議会などを通して決定し、住民に押しつけるもので、道路だけでなく、いま行なわれている中心市街地区画整理事業も同じです。富岡市も10年前頃、中心市街地の区画整理事業を計画していましたが、絹遺産の片倉製糸工場を中心とした都市観光に転換し、区画整理は中止しました。

オスプレイ請願は趣旨採択



飛行中のオスプレイ

19日の開催された総務文教常任委員会において、9月議会冒頭に付託されていた「オスプレイ配備の撤回を求める請願」（提出者：利根沼田平和委員会佐藤卓三会長・紹介議員：井之川博幸、大東宣之）と「垂直離着陸機オスプレイ沖縄配備と飛行訓練の中止を求める意見書採択に関する請願」（提出者：群馬県平和運動センター猪上輝雄代表委員・紹介議員：高柳勝巳）の請願の審査が行なわれ、両請願とも「趣旨採択」と決定されました。この決定は、24日の本会議に上程され、採決が行なわれます。

保育料の第2子半額、第3子無料は無条件で実施を

保育園保育料については、第3子の保育料無料が3年間拡充（第1子が小学3年生まで無料を延長・800万円）されましたが、出産祝金の廃止（1180万円）の代替え措置として財政的にもその範囲を超えておらず、第2子の半額軽減（現在は第1子、第2子とも保育園にいないとダメ）と第3子の無料化（第1子が小学3年以下、第2子が保育園にいないとダメ）は、無条件で実施することが必要です。

出産祝金支給事業は廃止されましたが、前年度59人の第3子の出産について支給されており、少子化対策・子育て支援として一定の役割を果たしてきました。少子化・高齢化が加速度的に進んでいる本市の現状を考えれば、いっそう充実させることこそ必要であり、廃止に反対です。行革先にありきのやり方で、認めることは出来ません。

沼中大運動会

ゴール直前 激走！



3年生徒競走

2012年9月23日 No.626

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料